

# 感動一点の場

『無題』  
1972年 小川原 脩 画

どこを見ているのか焦点の合わない青い目の男。同じ顔が上下に並び、それぞれの顔の背景が赤と青に塗り分けられています。これは小川原脩が61歳のときに描いた自画像です。目の周りのたるみや頬のしわなど、ありのままの自分を再現しつつも、緑に塗られた肌は彫刻のような質感を作りあげています。

1970（昭和45）年頃に小川原は犬や馬、白鳥をモチーフにして人間社会をテーマにした作品や心象風景など多くの作品を描いていますが、この絵は自分をモチーフにして自身の心情を表現したものではないでしょうか。

1972（昭和47）年11月に発行された札幌の時計台ギャラリーの美術情報誌に「〈自己を露呈したい欲望と、自己を隠蔽したい欲望とのあいだ〉で〈豊かな自閉〉におちいりつつ自分自身の道を探す以外に道はないと感ずることにほかならない。対自としての私自身をのぞき込み、世界内存在としての人間を求めようとする。」と小川原は書いています。

ふたつ並んだ顔は自身の内にある二面性を表し、ガッチリと組んだ手は社会情勢に翻弄されず自己を抑制して作品と向き合うことへの強い意思表示に思えるのです。

文：金澤 逸子（小川原脩記念美術館学芸スタッフ）

## しりべしの森

右の写真は、北海道後志総合振興局の前庭にある「しりべしの森」で、これらの樹木は、1997（平成9）年11月4日に植樹をしています。前年8月に後志総合振興局（当時は「後志支庁」）庁舎が全面改築され、庁舎の敷地は「羊蹄山を望む森に囲まれた建物」をコンセプトとして、後志管内の各自治体にゆかりがある樹木を植樹することとなりました。当時の北海道新聞には、後志支庁長や管内市町村長らが作業服を着て植樹作業をしたと掲載されています。

植えられたのは、倶知安町はイタヤカエデ、ニセコ町はシラカンバ、黒松内町はブナなど、各自治体にゆかりがある樹木数本のほか、その周りに桜の木が植樹されました。また、敷地には植樹を記念して看板も設置しています。

新聞の写真を見ると、植えられた当時直径20センチほどだった苗木は、現在では大きな樹木で直径50センチほどに育ち、横に設置されている北海道新幹線の看板を超える高さになっています。わずか30年ほどの年月ですが、植えられた樹木も大きく育っています。ぜひご見学してはいかがでしょうか。

文：今井 真司（倶知安風土館 学芸補助員）



## ふるさと探訪

511回



▲後志総合振興局前庭「しりべしの森」

## 展覧会のお知らせ

### ■第1展示室

#### 第67回麓彩会展

1958年、小川原脩をはじめとする8人の発起人により創設された「麓彩会」。倶知安にゆかりのある作家たちの近作を通じて、多彩な美術を紹介します。

会期：開催中～12月7日(日)

### ■第2展示室

#### 小川原脩展「戦時下の画家～小川原脩の戦争を考える」

小川原脩が戦時下に手掛けた1940年代の油彩画作品と戦地スケッチ、資料を展示します。

会期：開催中～令和8年1月18日(日)

## アート・イベントのお知らせ

### ■土曜サロン

#### アートレクチャー「東京国立近代美術館、2つの戦争画を見る」

日時：11月8日(土) 14時～14時40分 ※予約不要

会場：映像ルーム（無料） 講師：沼田絵美（副館長）

#### 映像で見る「東京国立博物館」

日時：11月15日(土) 14時～14時40分 ※予約不要

会場：映像ルーム（無料） 講師：金澤逸子（学芸スタッフ）

#### おとなの手しごと（34）「ピカピカのオーナメントを作ろう」

日時：11月29日(土) 14時～16時 会場：ロビー（無料）

講師：沼田絵美（副館長）、金澤逸子（学芸スタッフ）

定員：10名※要予約、高校生以上、親子可

予約受付：電話申込（☎21－4141）

### ■ロビー展示

#### 第18回絵画コンクール「ふるさとを描こう」作品展

絵画コンクールに応募のあった子どもたちの作品、全121点をロビーに展示します。

日時：11月3日（月・祝）～12月7日(日) 会場：ロビー（無料）

受賞者一覧は  
こちらから



## 倶知安風土館のお知らせ

### 「作ろう！知ろう！ニセコ連峰②」

日時：11月8日(土) 13時30分～16時30分

集合：倶知安風土館 定員：10名※要予約

講師：古市竜太さん（マウンテンガイド・コヨーテ主宰）

参加費：300円（材料費）

予約受付：11月7日(金)までに電話申込（☎22－6631）

### ■文化の日（11月3日）は美術館・風土館無料開放日

小川原脩記念美術館・倶知安風土館は、終日無料開放します。

#### ○小川原脩記念美術館 ※11月3日にもイベントを行います

①ふるさとを描こう絵画コンクール表彰式 10時～ ②友の会「ポストカード・ペーパークラフト配布」終日

③友の会「フェルトワークショップ」11時～（20名※予約不要）

# ミュージアム 通信

小川原脩記念美術館 ☎21-4141

観覧料：一般 500円 [400円]

高校生 300円 [200円]

小中学生 100円 [50円]

倶知安風土館 ☎22-6631

観覧料：一般 200円 [100円]

高校生以下、美術館観覧者無料

※年間パスポート500円（発行日より1年有効）

開館時間は9時～17時（最終入館16時30分）  
※〔 〕内は10名以上の団体料金  
11月の休館日 毎週火曜日  
★3日の文化の日・美術館開館記念日は  
美術館・風土館観覧無料

### 寺子屋ミュージアム

風土館では、小中学生を対象に昆虫採集や植物採取などを通じて、地域の自然について学ぶ「寺子屋ミュージアム」を開催しています。

寺子屋ミュージアムでは学芸員のほか、地域の自然や歴史に精通したガイド・研究者の方々が講師を務め、昆虫標本作製したり、化石を発掘したりと「体験」することで倶知安や北海道の自然や歴史を学ぶことができます。

私も何度かイベントの様子を拝見しましたが、講師の話を真剣に聞きながらとても楽しそうに参加されている皆さんの姿を目にしました。

11月8日に開催する「作ろう！知ろう！ニセコ連峰②」が今年度最後のイベントとなりますが、来年度以降も継続して開催していきますので、ぜひ参加してみてください！

なお、寺子屋ミュージアムの他にも、「ふるさと探訪」や「倶知安いきもの調査隊」といったイベントも開催していますので、そちらへの参加もお待ちしております。

館長 高橋 淳之